

農産物購入・食生活に関するアンケート調査

農産物流通課

1 調査目的

このアンケート調査は、県民の皆さまの農産物購入の実態、食生活に関する意識や現状を把握するために実施します。皆様からお寄せいただいた情報は、今後の農産物生産や販売の促進、食育の推進のために活用させていただきます。

2 調査対象など

調査対象：県政モニター516人（うちインターネットモニター251人）

調査方法：郵送及びインターネット

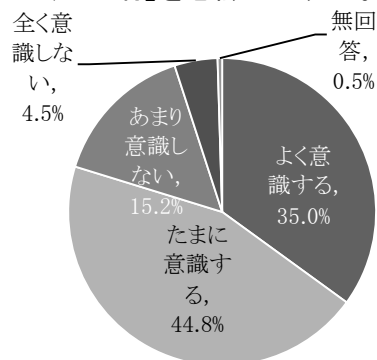
調査期間：平成29年11月1日～11月17日

回収結果：420人（回収率81.4%）

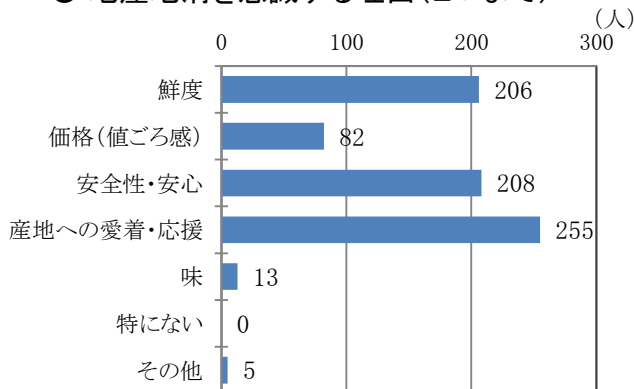
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

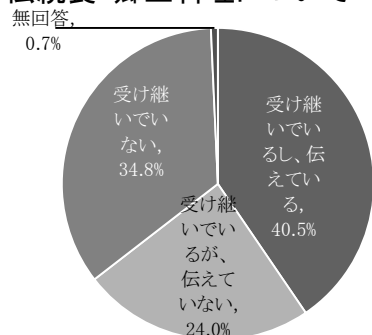
○ 農産物を購入するとき、「地産地消」を意識しますか。



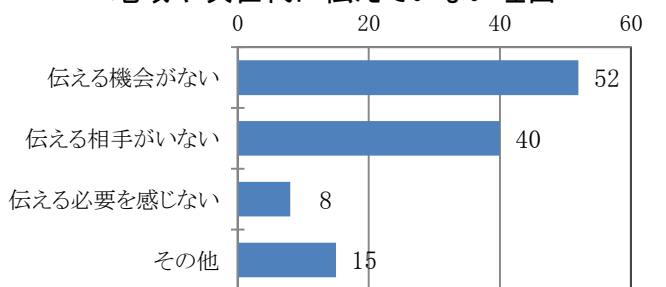
○ 地産地消を意識する理由(2つまで)



○ 伝統食・郷土料理について

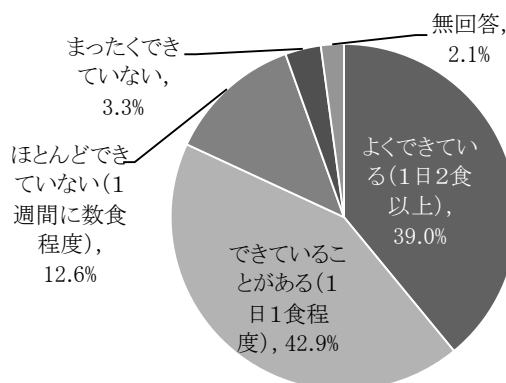


○ 伝統食等を受け継いでいるが、地域や次世代に伝えていない理由



○ 食生活について

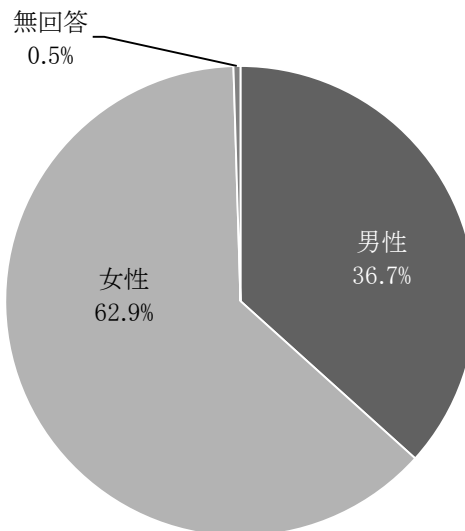
- ・ バランスのよい食事が「よくできている」「できていることがある」人 → 81.9%
- ・ 「ほとんどできていない」「まったくできていない」人 → 15.9%



4 回答者属性

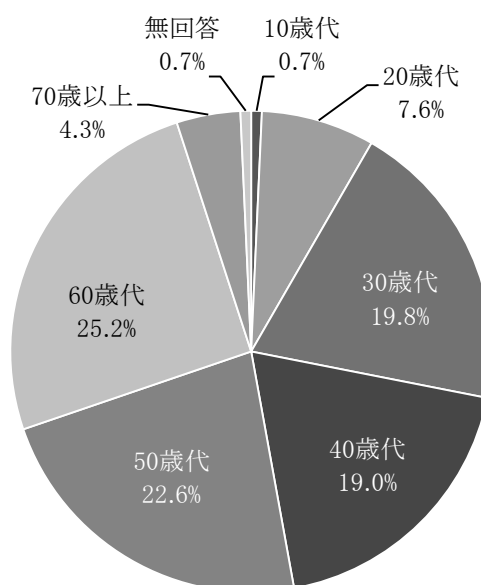
(1) 性別

	人数	割合
男性	154	36.7%
女性	264	62.9%
無回答	2	0.5%
計	420	100.0%



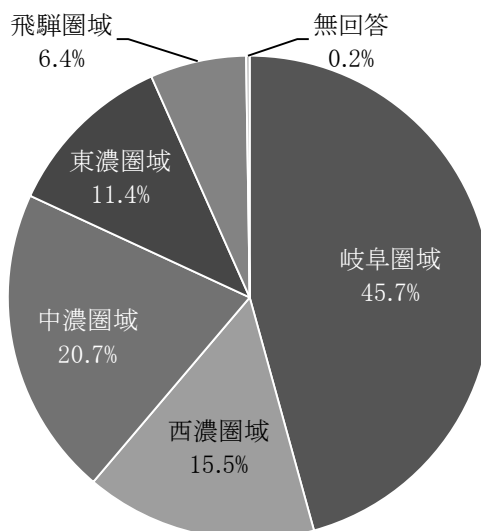
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.7%
20歳代	32	7.6%
30歳代	83	19.8%
40歳代	80	19.0%
50歳代	95	22.6%
60歳代	106	25.2%
70歳以上	18	4.3%
無回答	3	0.7%
計	420	100.0%



(3) 居住圏域別

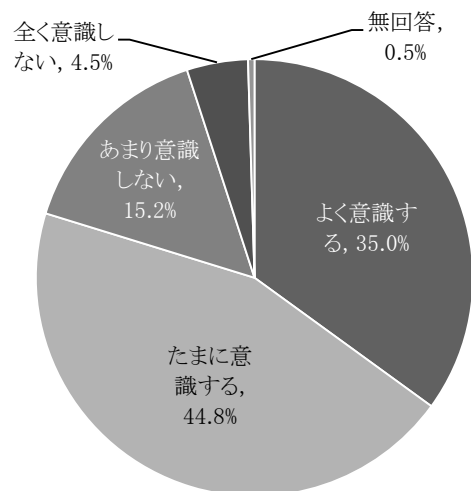
	人数	割合
岐阜圏域	192	45.7%
西濃圏域	65	15.5%
中濃圏域	87	20.7%
東濃圏域	48	11.4%
飛騨圏域	27	6.4%
無回答	1	0.2%
計	420	100.0%



5 調査結果

問1 農産物を購入するとき、「地産地消」を意識しますか。

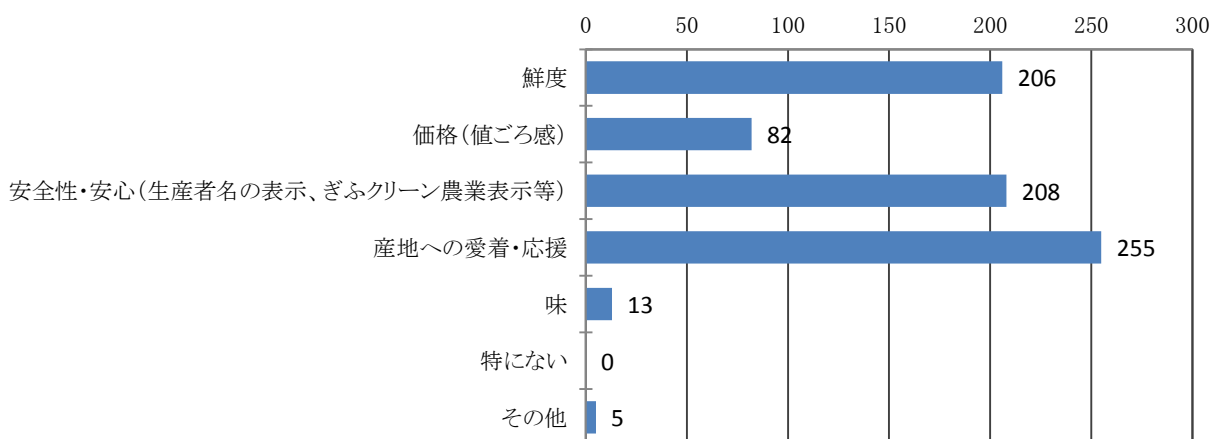
	人数	割合
よく意識する	147	35.0%
たまに意識する	188	44.8%
あまり意識しない	64	15.2%
全く意識しない	19	4.5%
無回答	2	0.5%
計	420	100.0%



問2 (問1で1・2と答えた方)

それはなぜですか。あてはまるものを2つまであげてください。 回答者 410人

	回答数	割合
鮮度	206	50.2%
価格(値ごろ感)	82	20.0%
安全性・安心(生産者名の表示、ぎふクリーン農業表示等)	208	50.7%
産地への愛着・応援	255	62.2%
味	13	3.2%
特にない	0	0.0%
その他	5	1.2%
計	769	-

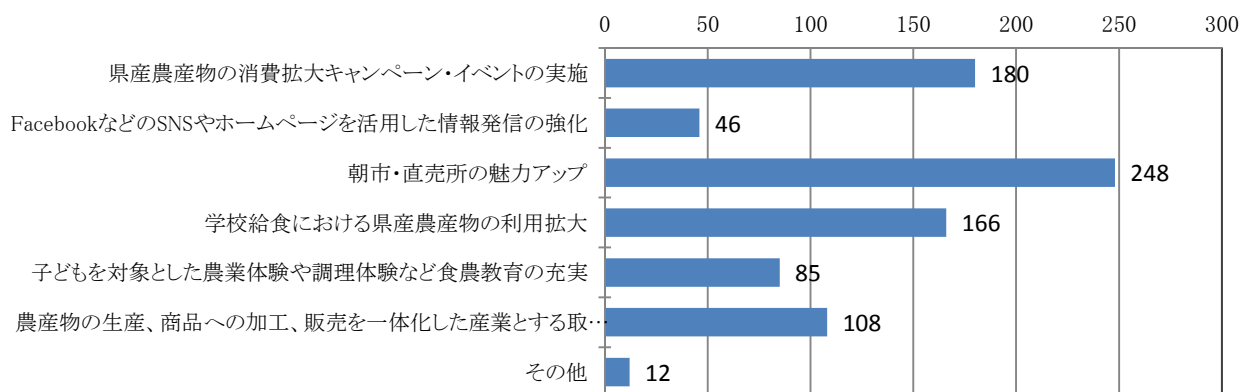


「その他」のうち主なもの

- ・ 環境負荷
- ・ 自分が生活している地域のものを食べたほうが(生まれた時から食べているものを食べたほうが)体にいいと聞いたから。
- ・ 自分がこの地で生まれ育ったのはこの地の環境や物で自分の体が出来ていると思うので、他の地の物は必要ない・・・と感じているが……。

問3 地産地消の推進のためにどのような取り組みが有効だと思いますか。
 あてはまるものを2つまであげてください。 回答者 418人

	回答数	割合
県産農産物の消費拡大キャンペーン・イベントの実施	180	43.1%
FacebookなどのSNSやホームページを活用した情報発信の強化	46	11.0%
朝市・直売所の魅力アップ	248	59.3%
学校給食における県産農産物の利用拡大	166	39.7%
子どもを対象とした農業体験や調理体験など食農教育の充実	85	20.3%
農産物の生産、商品への加工、販売を一体化した産業とする取り組みの拡大	108	25.8%
その他	12	2.9%
計	845	-

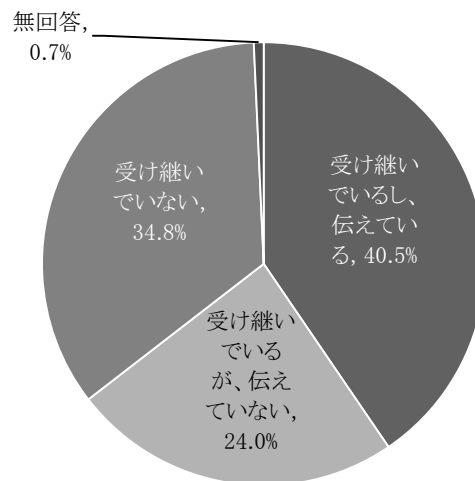


その他のうち主なもの

- ・ 地産農産物の販売場所を増やす。
- ・ もっと大型スーパー等で扱うようにする。
- ・ 地場産は他県産より格安にすれば良い。

問4 あなたは、伝統料理や郷土料理などの地域や家庭に伝わる料理や味、箸使いなどの食べ方・作法について受け継いでいますか。また、地域や次世代（子どもやお孫さんを含む）に伝えていきますか。

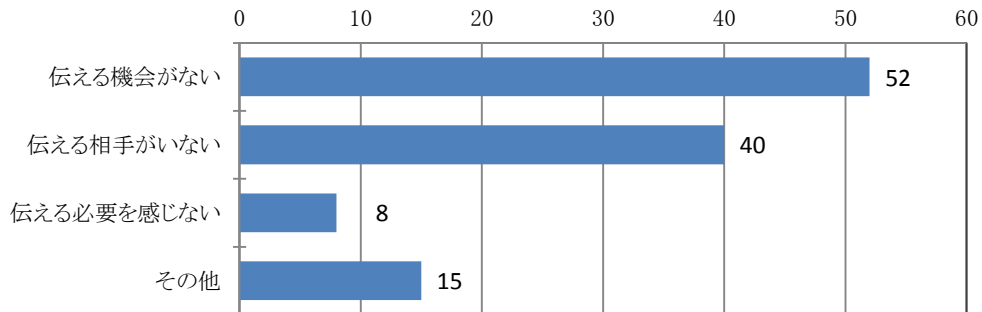
	人数	割合
受け継いでいるし、伝えている	170	40.5%
受け継いでいるが、伝えていない	101	24.0%
受け継いでいない	146	34.8%
無回答	3	0.7%
計	420	100.0%



問5 (問4で2と答えた方)

それはなぜですか。あてはまるものを1つあげてください。

	人数	割合
伝える機会がない	52	45.2%
伝える相手がいない	40	34.8%
伝える必要を感じない	8	7.0%
その他	15	13.0%
計	115	100.0%

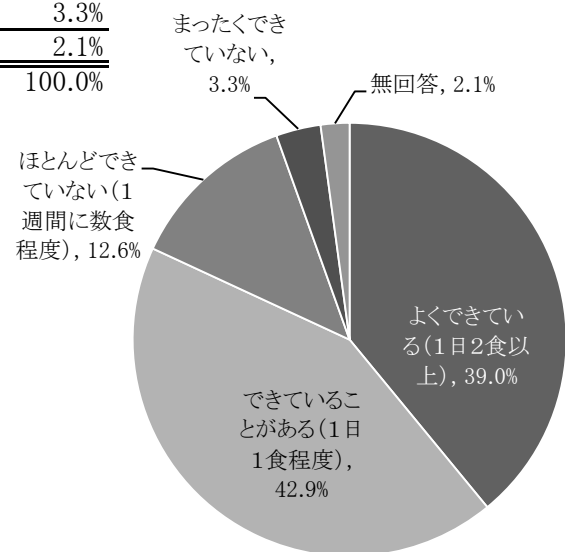


その他のうち主なもの

- ・ 伝え方が、よくわからない。
- ・ 食生活の変化により、現代には現代に合った方法があり、古いものにこだわる必要はない。
- ・ あまり自信がない。しっかり受け継いでいない。
- ・ 一度試みたが伝えきれなかった。

問6 あなたは、主食、主菜、副菜を基本にバランスのとれた食生活を送っていますか。

	回答数	割合
よくできている(1日2食以上)	164	39.0%
できていることがある(1日1食程度)	180	42.9%
ほとんどできていない(1週間に数食程度)	53	12.6%
まったくできていない	14	3.3%
無回答	9	2.1%
計	420	100.0%



問7 その他「地産地消」「食生活」「伝統食・郷土料理」に関する御意見・御要望などございましたらお聞かせください。（主な意見）

《地産地消について》

- ・ 地産地消は顔の見える関係で信頼性が高まると考えられる。
- ・ 地元の物は送料が少なく済むので安く手に入るといい。JAなどに野菜を買いに行きたいと思うけど、他の買い物を同時に済ませたいという思いからスーパーなどへ行ってしまふ。同じ駐車場でそれぞれ買い物できると便利なのと思う。
- ・ 地産地消をしたいと思うが、どうしても売り場で値段とにらめっこになり安い方へ手が伸びてしまう事があります。値段の差が余り無いと嬉しいのですが。
- ・ 身近に地産地消を感じる事ができるイベントを増やして欲しい。

《食生活について》

- ・ 小学生くらいの子供に向けた発信をすると将来にわたって意識づけ出来ると思います。
- ・ 食生活:フルタイムで働いているので、帰宅してから自炊やる元気は残っていないので、インスタントや惣菜メインになってしまう。個人的意見としては、社員食堂運営や仕出し弁当支給への補助金が欲しい。
- ・ 高齢者一人暮らしの方が心配です。肉や魚は食べない。一人の食事は作るのが面倒。という話を聞きます。高齢の方には「まあ年寄りだで、ええわ・・・」と言わせないように、食の大切さを伝えていかなければいけないと思います。

《伝統食・郷土料理について》

- ・ もう少し住民へのアピールが必要かと思う。なかなか伝統食を知る機会がないので、なにかきっかけがあるといいと思う。
- ・ 伝統食を伝える料理教室を開いてほしい。
- ・ 忙しい毎日の中、手間のかかる伝統食を作らなくなって、買ってくる。家族形態も年寄りのいない家庭が増えて伝わっていない。昔が良いとは言わないが、伝えるべきことは学校地域での行事の通して伝えるべきだと思う。
- ・ 地域の伝統料理をつくったり食べたりする定期的なイベント等を継続し、伝統料理・郷土料理に触れ合う機会をを拡大するとともに、伝統料理毎の詳細な調理方法やレシピをしっかりと作成しておき、いつの時代でも調理方法、レシピを見れば誰もがつくれるような状況にしておくことが大切だと思います。
- ・ けいちゃん東京の居酒屋で食べたことありましたが、岐阜の食べ物だとは住むまでしりませんでした。美味しいのに知名度低くもったいない。厚木の白ころシロコロホルモンみたいに新しくもゆくゆくは地産地消で郷土料理になるようなものを開発してみてもどうでしょうか。

《その他》

- ・ 農業祭以外に、もっとアピールしたらいいと思う。
- ・ 時代の流れと共に薄れていく情報があっても、仕方ないのかな・・・とは思いますが。
- ・ 岐阜県の名産品として思い浮かぶものがあまりありません。全国的にアピールできるものが欲しい。
- ・ 地産地消や郷土料理は各市町村が取り組んだほうが、盛り上がると思う。小さい単位のほうが良い。
- ・ 地産地消も良いですが自給自足の生活をすすめていった方がいいのではと思います。子供たちに野菜や米作りをもっと教える場所や機会があればよいと思います。